

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」平塚校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	法令を遵守したスペースを確保している。パーティションで利用者に合った教室内のスペース作りを設定している。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1	0	法令で必要とされる配置数である常勤 6 名を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	1	段差の箇所があるため、段差が分かりやすいよう、色テープで視覚化している。場所の移動がある際は安全面の配慮が行われるようにしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0	職員で月末ミーティングを行い、目標設定と振り返りを行い、チームとして業務改善に取り組んでいる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	保護者向けアンケートの結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	HP で結果を公開するとともに教室に結果の掲示を行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	0	行っていないが、今後検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	発達支援研究所の定例研修、指導員勉強会、初任者研修、児発管研修、階層別研修に積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	定期的にあセスメントやモニタリングを行っている。事業所内相談支援を定期的に行い、保護者のニーズをお聞きし、放課後等デイサービス計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	法人で定められたアセスメントシートを用いている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	日々の情報交換を密に行い、共通理解をすることで、支援プログラムの立案をチームで行い、共有している。

	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	支援プログラムについては、固定化しないよう、職員間で情報交換を密に行い、日々の教材研究を行っている。支援の構造化のため、わかりやすいプログラムを提示し、利用者の様子を見ながらスモールステップで課題を進めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	個別支援中心だが、長期休暇には学校の宿題のサポートや、工作や実験の小集団イベントを行い、課題設定に変化をもたせている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	児童の状況やニーズ、発達段階に合わせて、状況を見ながら個別・集団の療育を組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	前回の利用者の様子や取り組みの内容、保護者の方とのお話の内容を踏まえ支援を行うことができるよう、情報共有シートや支援記録でのやり取り、職員間で打ち合わせを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	業務に合わせ、ミーティングを実施している。職員相互の情報共有を円滑にするため、ツールも適宜活用している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	毎回の支援の記録をとり、支援の検証・改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	6か月のモニタリング期間にこだわらず、状況が変化した際には支援計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	0	0	学習支援のみならず、認知作業や社会性の支援など複数の活動を組み合わせで行っている。
関係機関や保護者	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	児童発達支援管理責任者が出席するようしており、その内容については職員間で情報共有も行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	事業所内相談支援時に保護者へ学校行事、下校時刻等の確認を行っている。また、適宜関係機関連携で学校との情報交換を行っている。

との連携関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在、該当の利用者はない。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0	0	多機能型事業所のため、就学前から利用されている利用者が多い。就学前に利用されていた保育所や幼稚園、認定こども園とも情報共有を行い、相互理解を行っている。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	1	該当者はまだいないが、そのような場合には連携を密にし、情報共有を行い、移行支援を行う。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	1	発達支援研究所の助言や研修を受けている。他の専門機関と連携を取るよう心掛けていく。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	2	個別療育の事業所のため、放課後児童クラブや児童館との交流は現状実施していない。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	0	平塚市自立支援協議会学齢期分科会に参加し、事例検討会や研修に参加し、他事業所との情報共有も積極的に行った。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	毎回の支援後のフィードバックの他に、可能な限り事業所内相談支援を行い、児童の発達の状況や課題について保護者の方と共通理解が持てるよう努めた。
保護者への説明責	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	0	0	定期的に事業所内相談支援を行い、その中で「合理的配慮」や「ビジョントレーニング」「ワーキングメモリ」のパワーポイント資料や書籍をお見せしながら、保護者の対応力の向上を図る支援（ペアレントトレーニング）を行うよう努めた。
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	契約時に保護者に説明を行い、理解を得ている。また、教室にも常時掲示し、閲覧できるようにしている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	毎回の支援後のフィードバック時や事業所内相談支援を可能な限り定期的に行い、相談に応じ、必要なアドバイスと支援を行うようにしている。また、電話や

任 等					LINE、メールでも相談を受けており、保護者の困り感に寄り添えるよう努めた。	
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	0	後半は実施が難しかったが、保護者会を開催し、必要に応じて希望される方の保護者同士の連携の支援を行った。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	通所時はもちろん、LINE、メール、電話等でご相談を随時受け付けている。状況に応じ迅速かつ適切に対応するよう努めている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	「きりり通信」の発行他、個別のカレンダーを作成し、個々のご家庭に配付を行い、予定や連絡の確認ができるよう努めている。また、HPでのブログ、SNSを活用し、活動概要等の発信を行っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	利用者の個人情報はファイル管理した上で施錠できる書庫で保管している。また随時職員向けの研修も行っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	視覚提示や動作での提示、音楽を用いた支援を行っている。保護者の方には状況に応じ、口頭だけでなく、メモやプリント、メールやLINEでの配慮も行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	1	個別療育の事業所であるため、地域住民を招待する行事は行っていないが、今後も地域に開かれた事業運営を行っていく。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	年間の防災訓練の計画に沿って月に1回の防災訓練を実施し、緊急災害等に備えている。また、毎月の防災計画を教室掲示している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	年間の防災訓練の計画に沿って月に1回の防災訓練を実施し、緊急災害等に備えている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	虐待防止委員会が組織化されている。全職員で研修に参加し、適切な対応が取れるようにしている。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	身体拘束の基準を重要事項説明書に記載し、契約時に保護者に説明している。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	食事の提供はないが、契約時に必ず聞き取り、基本情報シートに記入いただき、情報を職員間で共有している。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	その都度ヒヤリハット表に記入し、職員間での月末会議ではそれぞれについて対策を検討している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」平塚校 保護者等数（児童数）：31 回収数：30 割合：97%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	3	0	待合室があると嬉しいです。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	31	1	0	→法令で必要とされる配置数である常勤5名を配置いたしております。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	9	1	特別必要な状況とも思わない。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	31	0	0	都度確認いただいています。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	28	3	0	都度確認いただいています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	11	8	特に問題ない。わからない。 →個別療育を基本としていることから児童同士の交流の場は設けておりません。状況に応じ、在籍児童の通学している学校への連携訪問を通し、情報交換等行ってまいります。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	0	0	相談支援（面談）時に情報共有しています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	1	0	相談支援（面談）も実施いただいています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	0	0	→定期的に相談支援（面談）を行い、保護者に対して育児に関する助言等を行い、支援をすすめるよう努めております。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25	4	2	自分が出席できていないので……。 →保護者懇談会は今年の前半は実施していたが、後半は実施が難しい状況がありました。引き続き実施してまいります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	27	4	0	事例なし。 →苦情対応について、放課後等デイサービスガイドラインに則り、体制を整備し、適切な対応を努めております。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	1	0	LINE の利用など配慮されています。 →自力通所されている利用者の保護者の方には、必要に応じて支援のフィードバックを LINE で送付させていただいています。また、学校や家庭での状況等、変化や困りごとがあったら電話や LINE で送っていただいたりして情報共有に努めております。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	2	0	→定期的に教室会報「きりり通信」を発行し、また HP ブログ、SNS で活動内容や連絡事項を発信しております。自己評価の結果については、HP に掲載しております。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	28	3	0	→個人情報を保護・管理する体制を整え、運用を規定し、全ての職員がそれを遵守し、今後も適切な管理に努めてまいります。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	28	2	0	→緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しております。保護者へわかりやすく周知・徹底してまいります。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	8	1	不明。 →非常災害の発生に備え、毎月テーマを決め、全職員で防災訓練を実施しております。防災訓練の計画・実施については、教室掲示を行い、児童の支援時に行った訓練や支援については教室会報「きりり通信」や HP のブログや SNS にて、様子をお伝えしております。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	28	2	1	とても楽しみに通所しています。ありがとうございます。 →今後も支援の質の向上を継続的にめざし、魅力ある支援の提供ができるよう、職員全体で取り組んでまいります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	31	0	0	満足しています。引き続きよろしく申し上げます。子どものニーズを適切にとらえてくださり、いつも安心・達成感を得て、娘は学んでいます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。